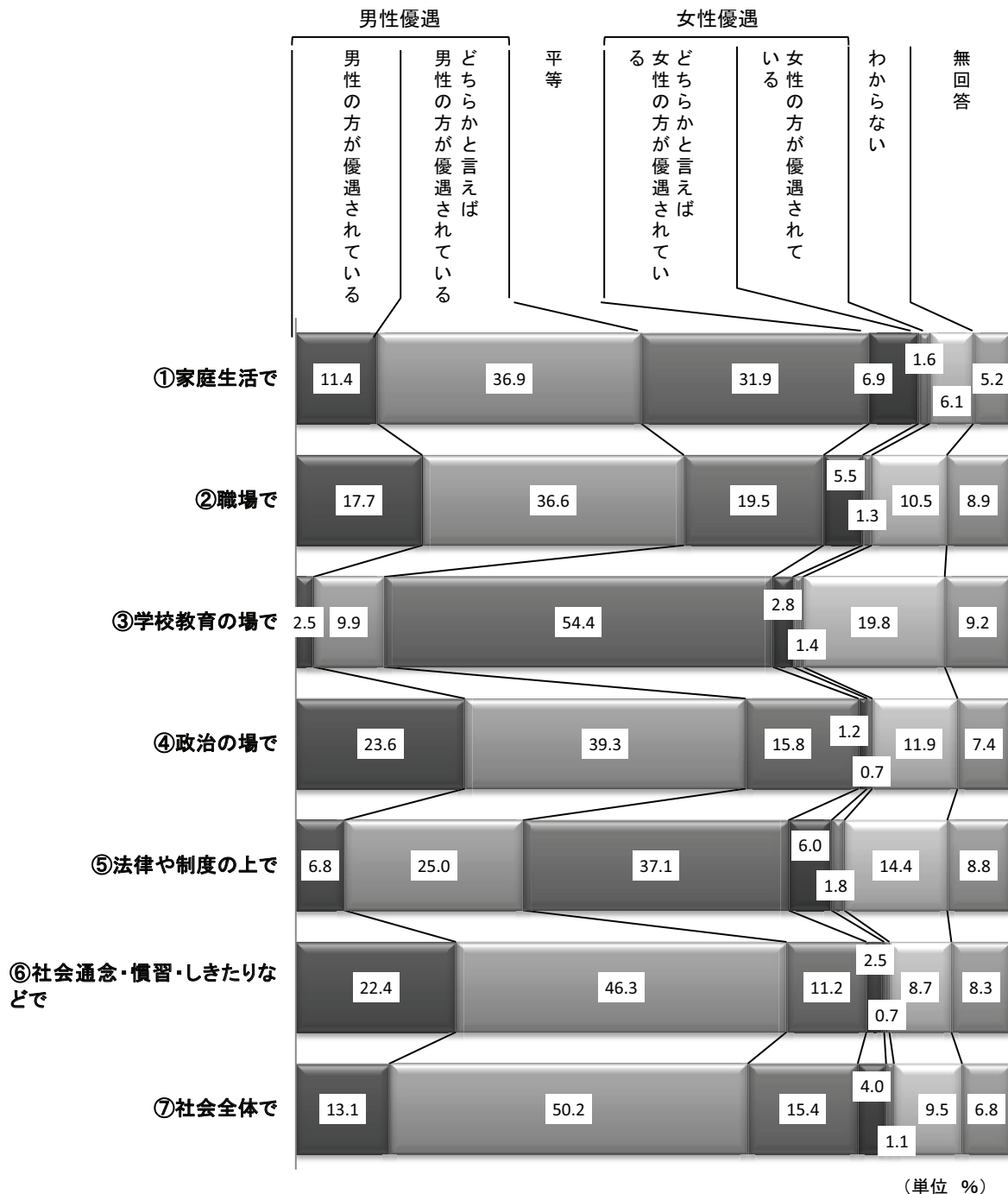


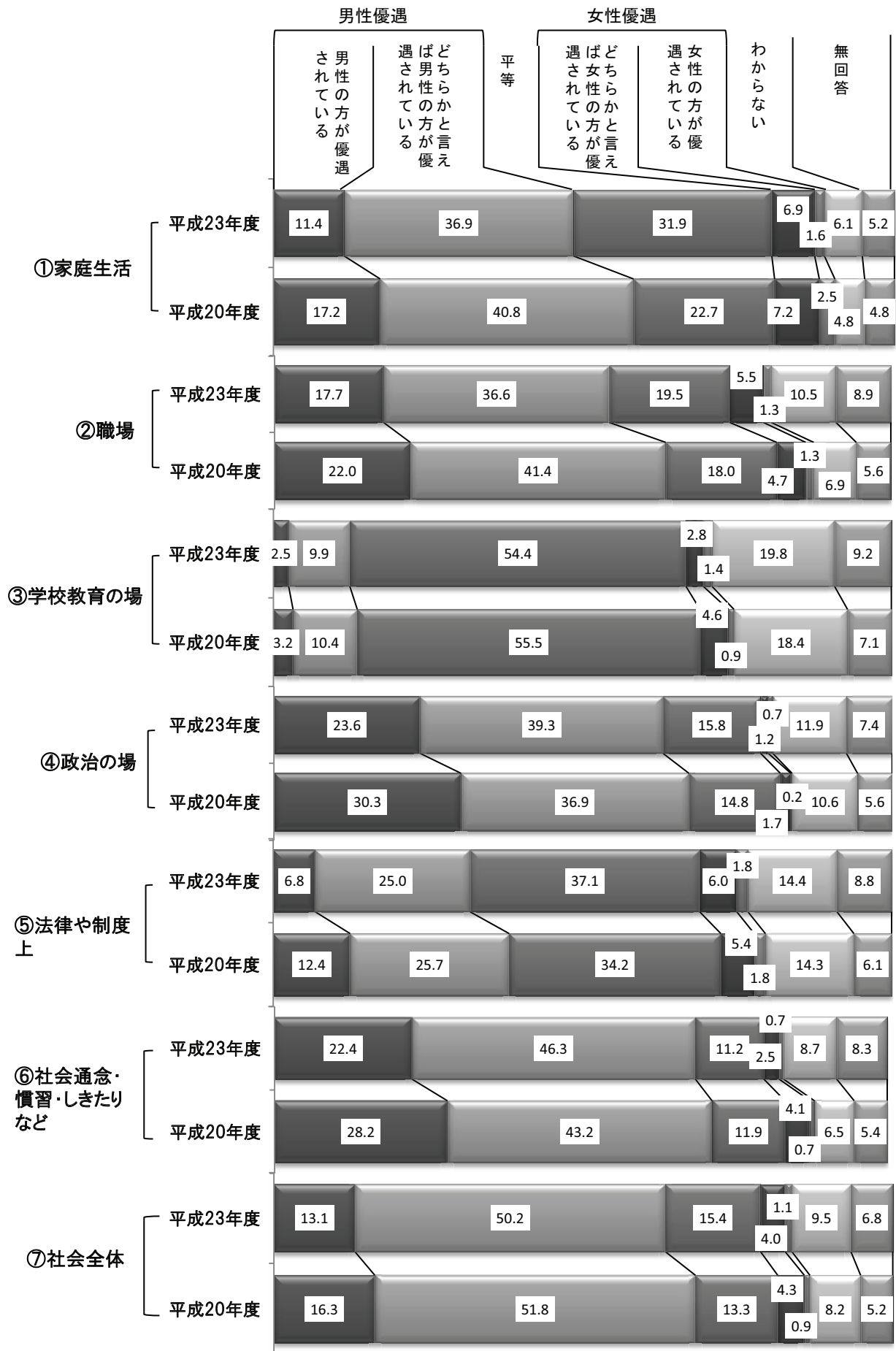
3. 男女共同参画

(1) 男女の地位の平等感

問7 あなたは、ここにあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んで○をつけてください。

すべての項目において男性優遇が女性優遇を上回る





(単位 %)

男女の地位の平等感について、「平等」と回答した割合は「③学校教育の場」が54.4%で最も高くなっている。一方で、「男性優遇」（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」）と回答した割合は「⑥社会通念・慣習・しきたりなど」が68.7%で最も高く、次いで「⑦社会全体」（63.3%）「④政治の場」（62.9%）の順となっており、すべての項目において「女性優遇」（「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が優遇されている」）を上回っている。

前回調査（平成20年度）との比較では「平等」と回答した割合が、「③学校教育の場」「⑥社会通念・慣習・しきたりなど」では僅かに減少しているが、他の項目においては増加している。

＜属性による比較＞

【生活圏別】

「平等」と回答した割合は、「②職場で」「⑤法律や制度の上で」の2項目で備北生活圏が高くなっているが、その他の項目については、広島生活圏の回答割合が高くなっている。

【性別】

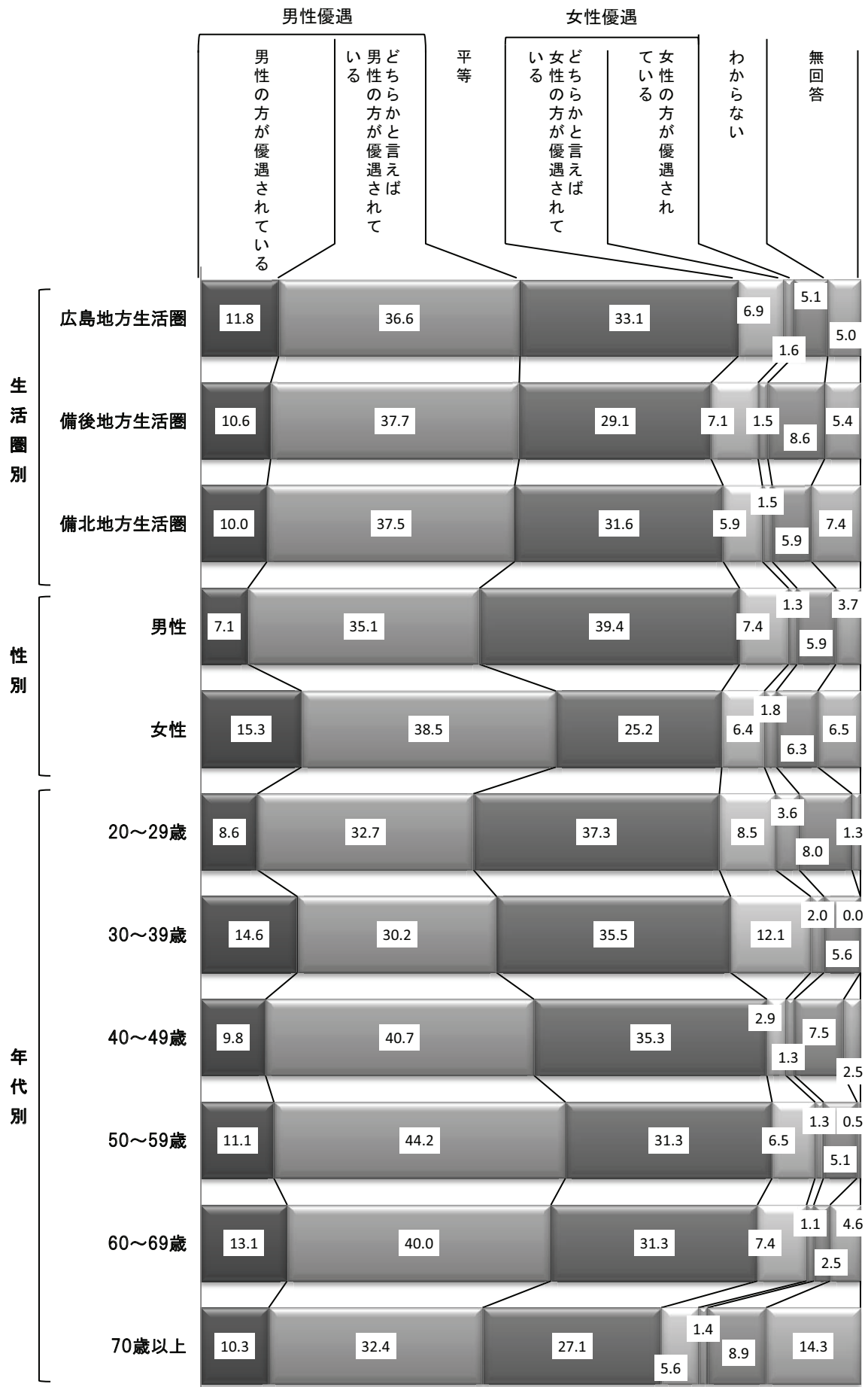
すべての項目において、男性で「平等」と回答した割合は、女性より高くなっている。

【年代別】

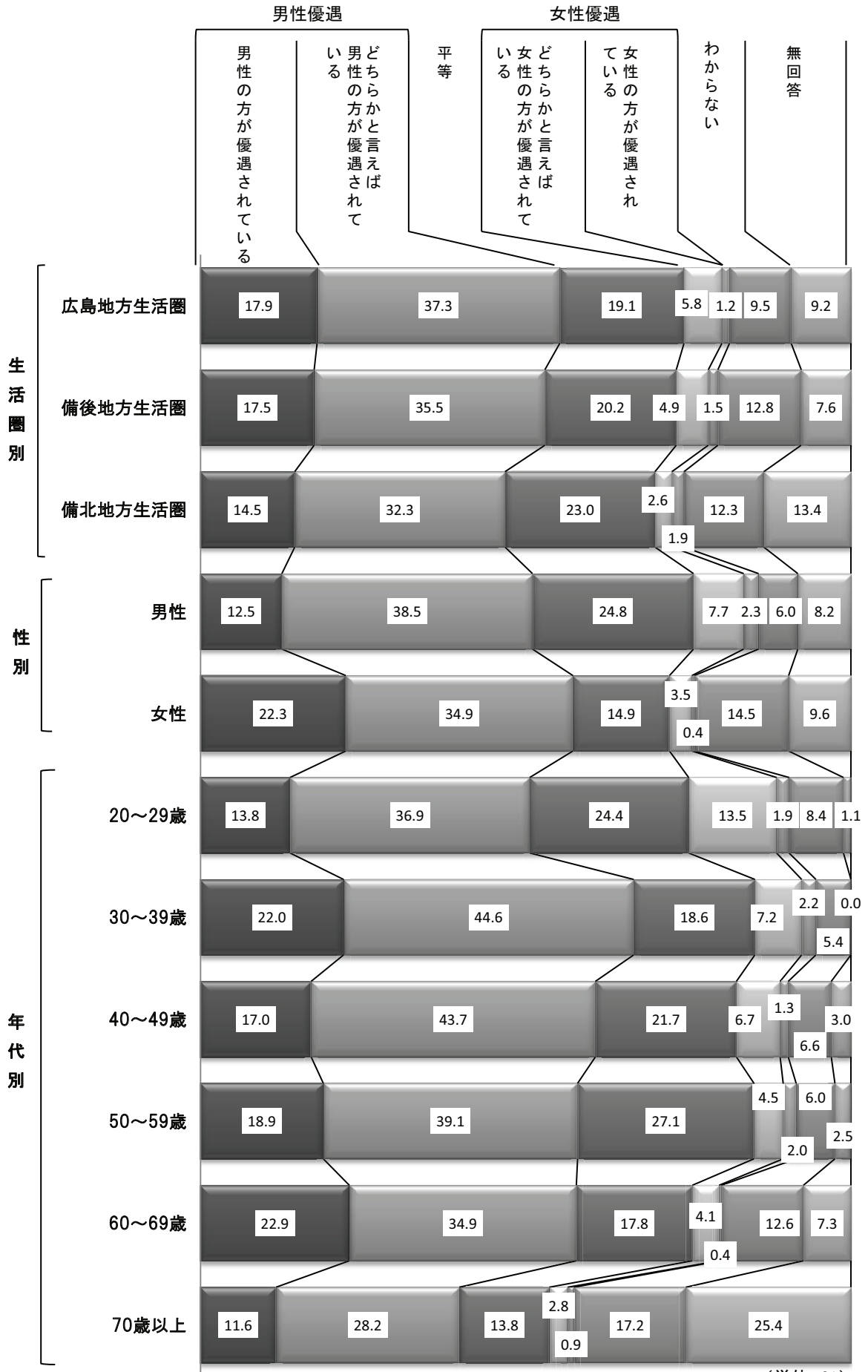
「⑦社会全体」において、70歳以上が「平等」と回答した割合は20.6%で、すべての年代の中で最も高く、50歳代が10.3%で最も低くなっている。

男女の地位の平等感(生活圏, 性, 年代別)

① 家庭生活で

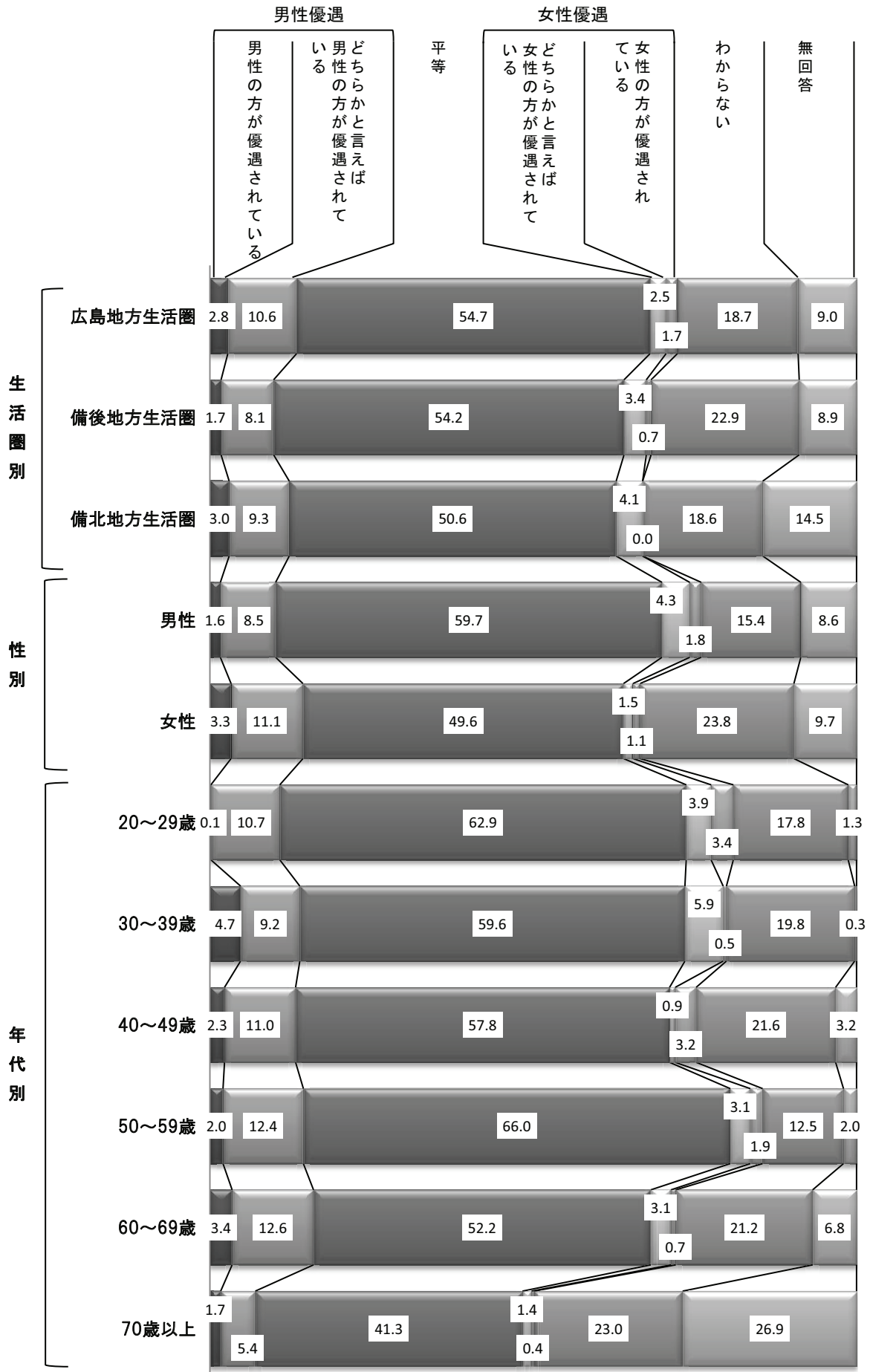


② 職場で

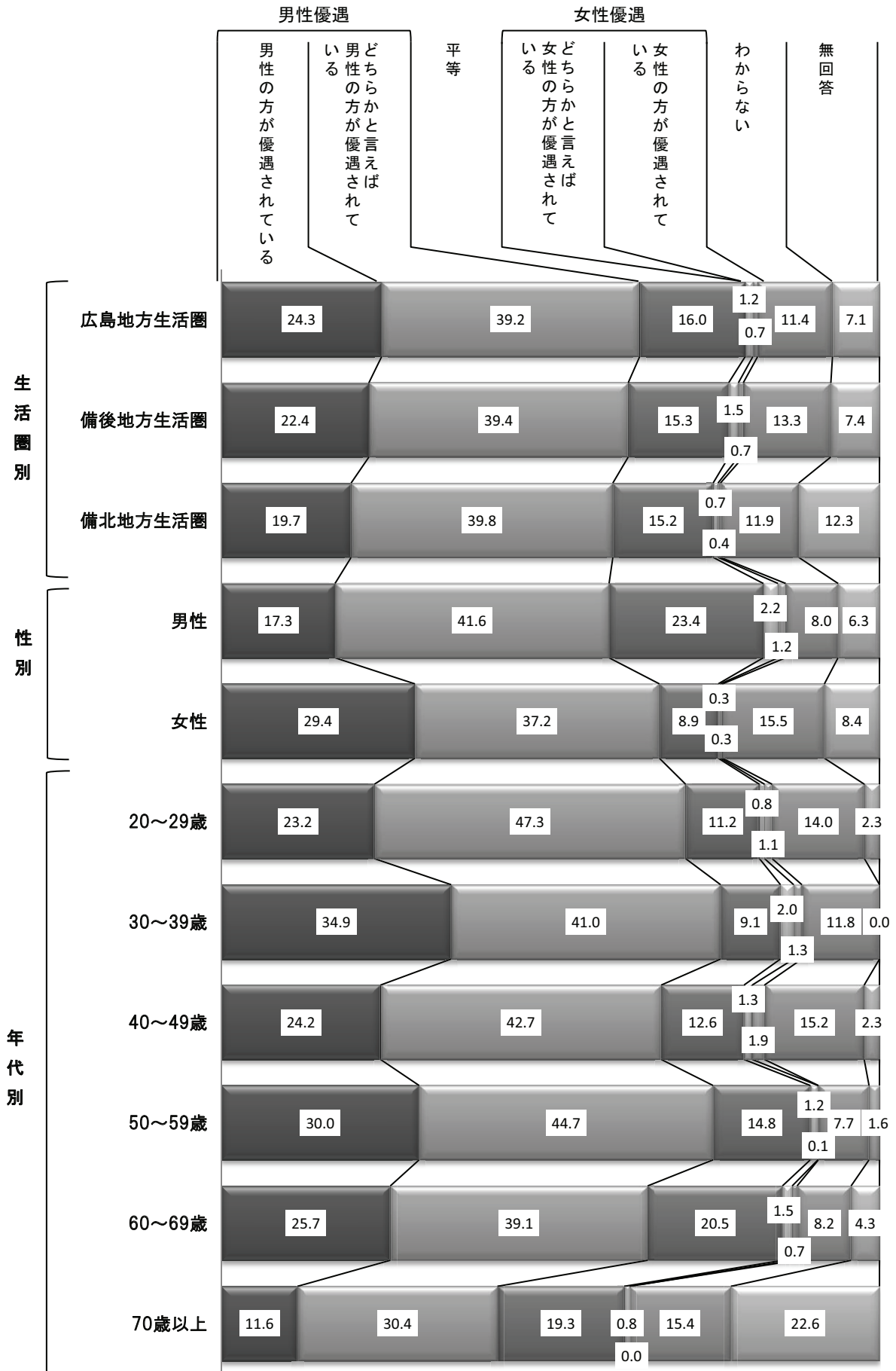


(単位 %)

③ 学校教育の場で

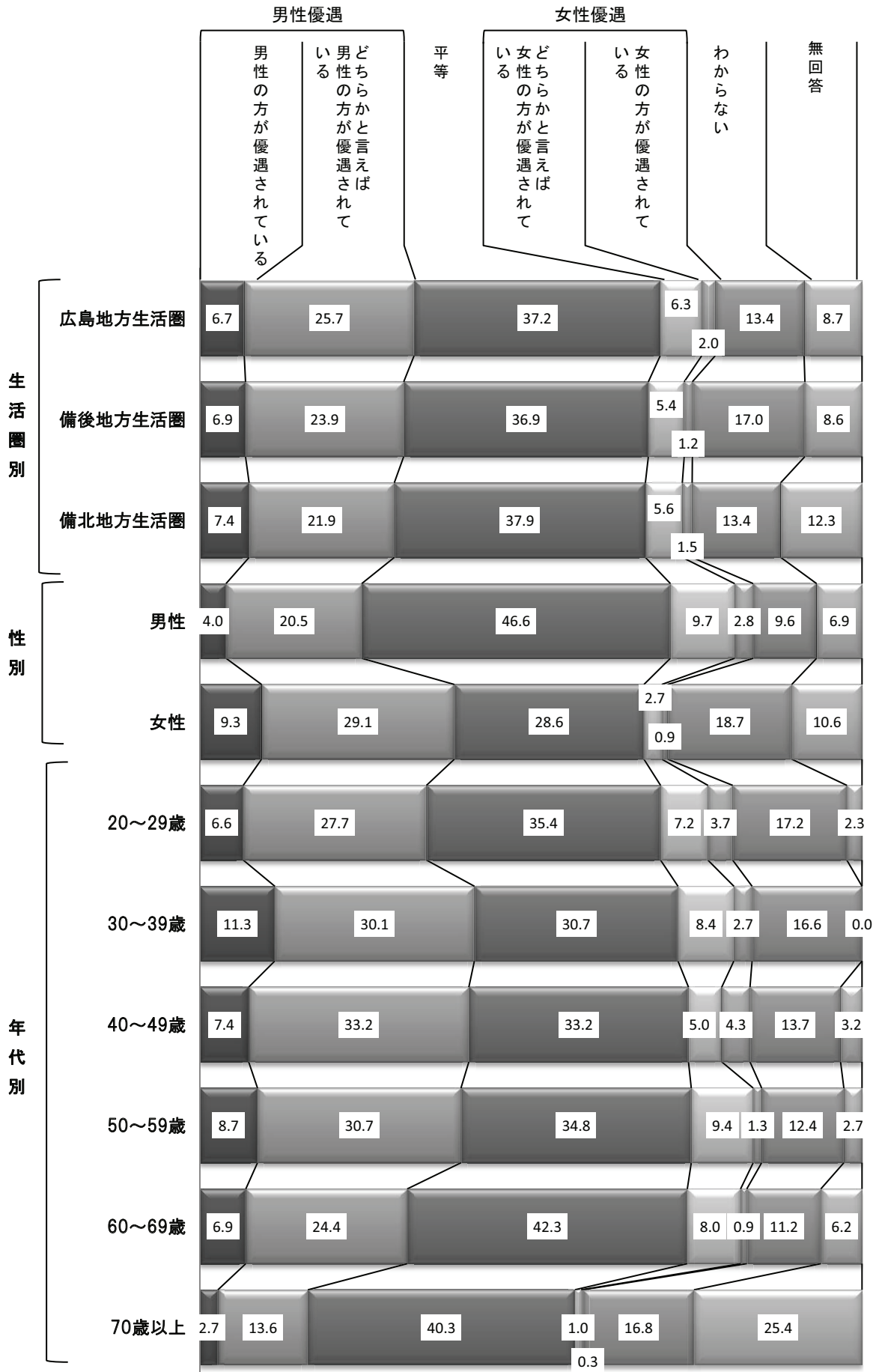


④ 政治の場で



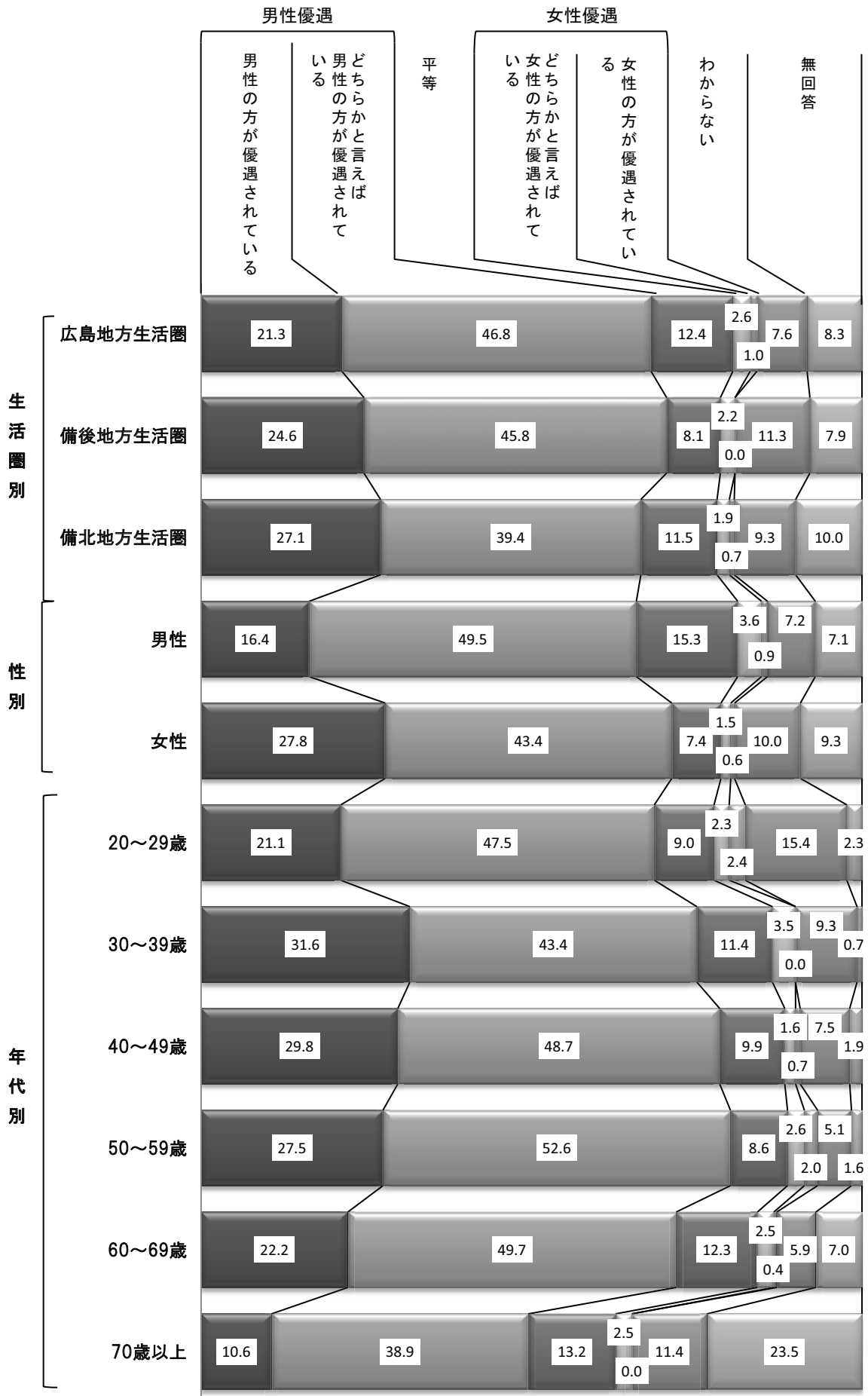
(単位 %)

⑤ 法律や制度の上で

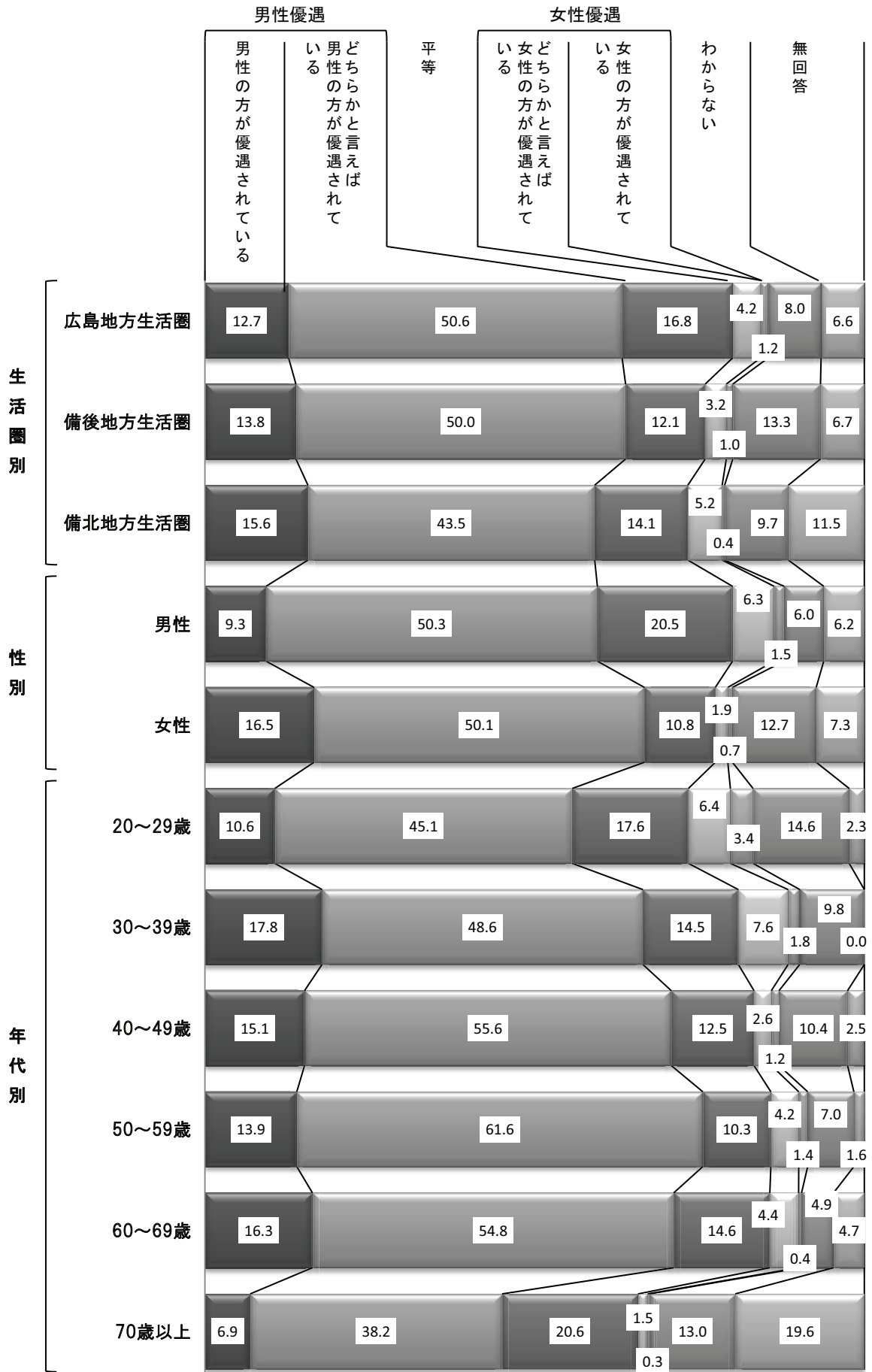


(単位 %)

⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどで



⑦ 社会全体で



(単位 %)

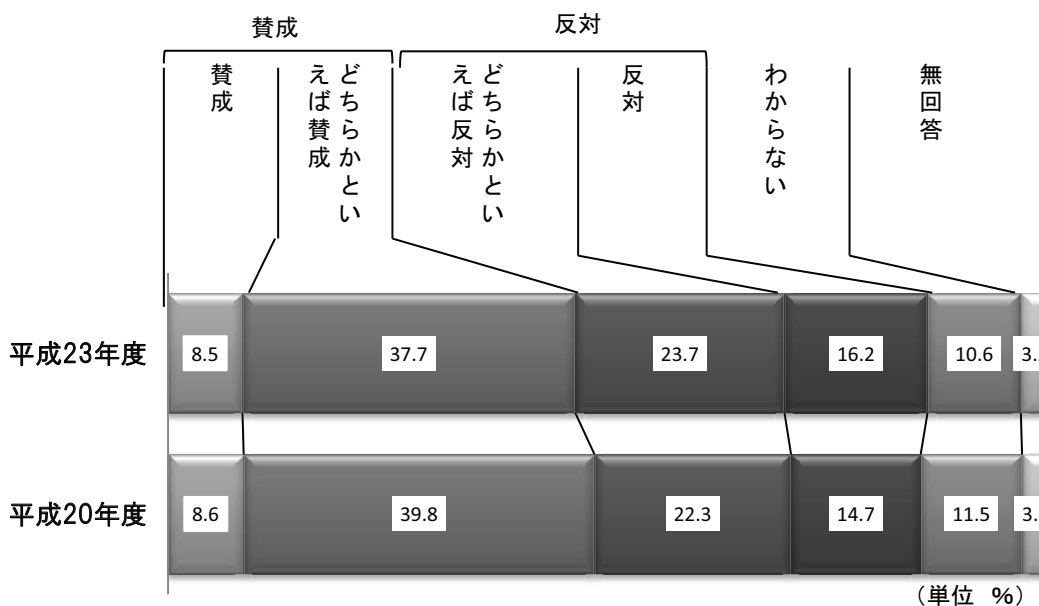
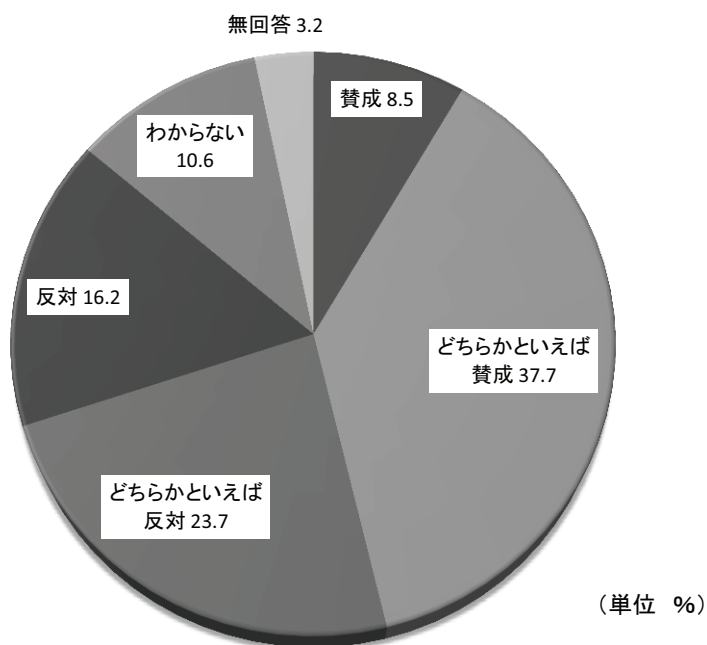
(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方

問8 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に賛成ですか。それとも反対ですか。次の中から、あなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

「賛成」は46.2%で、「反対」は39.9%

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成」（「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した割合は46.2%で、「反対」（「反対」「どちらかといえば反対」）は39.9%となっている。

前回調査（平成20年度）との比較では「賛成」と回答した割合が僅かに減少し、「反対」は僅かに増加している。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

「賛成」と回答した割合は広島生活圏が最も高く48.4%で、「反対」と回答した割合は備北生活圏が最も高く50.9%となっている。

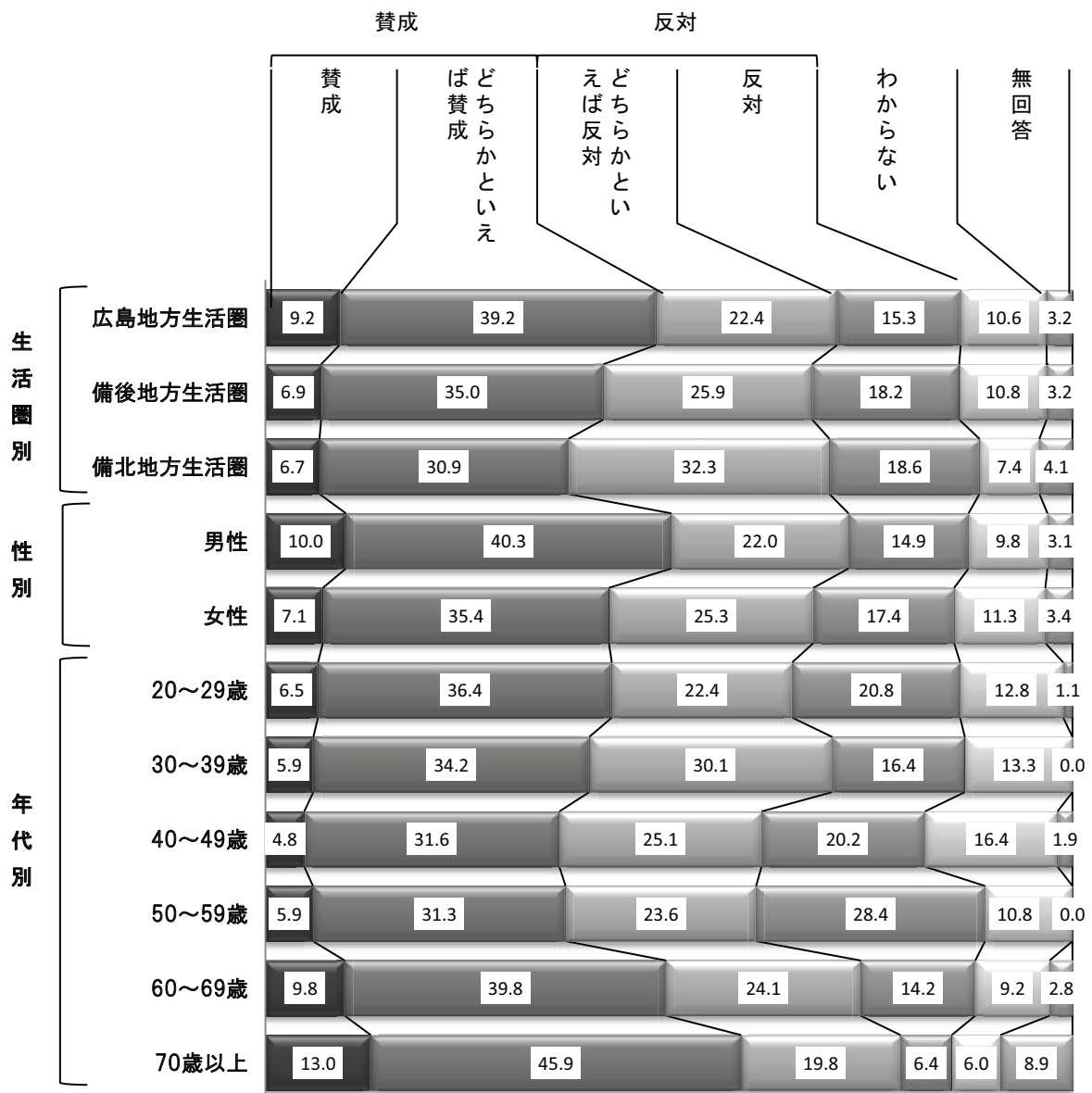
【性別】

男性で「賛成」と回答した割合は50.3%で女性より7.8ポイント高くなっている。女性の「反対」は42.7%で、男性より5.8ポイント高くなっている。

【年代別】

「賛成」と回答した割合は70歳以上の年代で58.9%、60歳代で49.6%と他の年代より高くなっている。一方で、20歳代～50歳代の「反対」は、同年代の「賛成」を上回っている。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方
(生活圏, 性, 年代別)

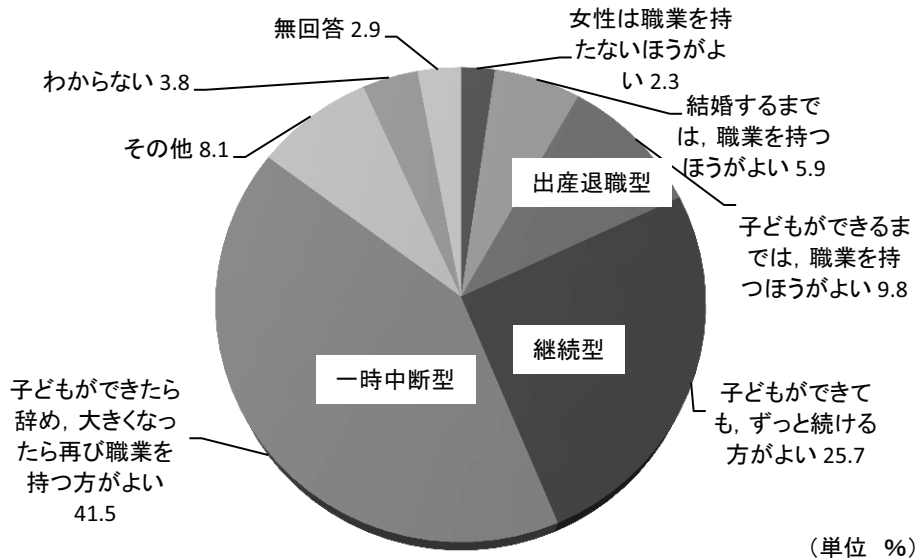


(単位 %)

(3) 女性が職業を持つこと

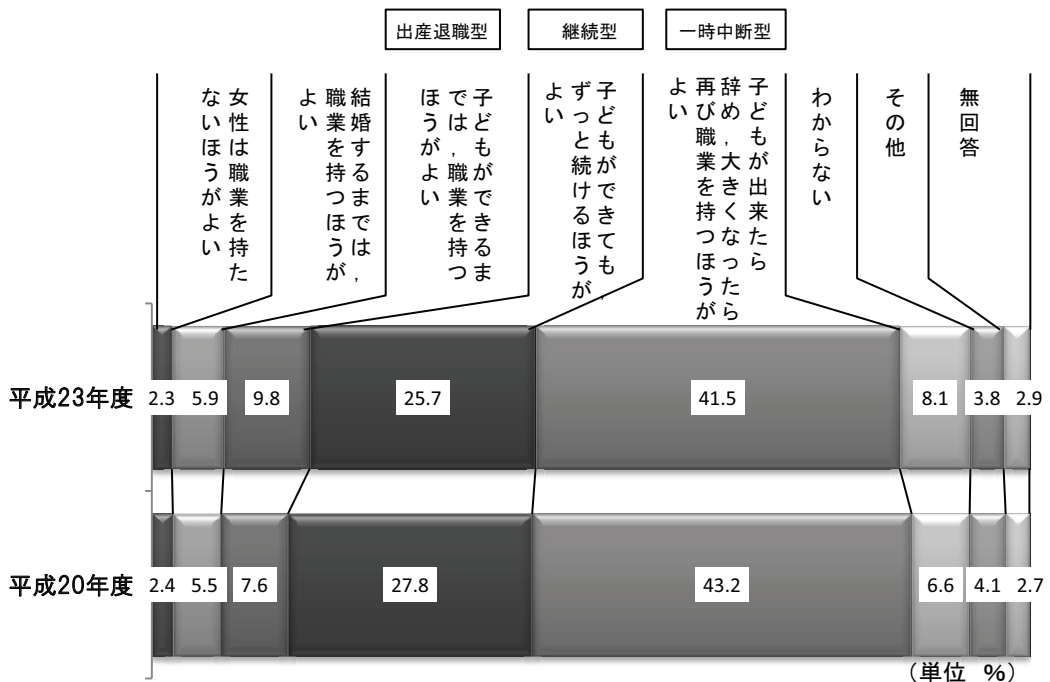
問9 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

「一時中断型」「継続型」が65%超



女性が職業を持つことについて、「子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」という「一時中断型」が望ましいと回答した割合は41.5%で最も高く、次いで「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」という「継続型」は25.7%、「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」という「出産退職型」は9.8%となっている。

前回調査（平成20年度）との比較では、「一時中断型」「継続型」ともに僅かに減少し「出産退職型」は僅かに増加している。



〈属性による比較〉

【生活圏別】

「継続型」と回答した割合は、備北生活圏が31.6%、備後生活圏が31.3%と高く、広島生活圏が23.2%と他の生活圏に比べると低くなっている。

【性別】

女性で「継続型」と回答した割合は27.4%で、男性より3.6ポイント高くなっている。

【年代別】

50歳代で「継続型」と回答した割合は33.1%で、すべての年代の中で最も高く、70歳以上の年代では、18.2%と他より低くなっている。「一時中断型」はすべての年代において最も高くなっている。

女性が職業を持つこと(生活圏, 性, 年代別)

